

先般、四国善通寺第14旅団記念日に参加した際に、飛行機の時間に余裕があったので隣町にある金比羅さんに詣でた。1368段の階段を休まずに奥社まで一気に歩いたが、流石に汗だく疲労困憊であった。階段を登りながら、さて日本一はと疑問に思い調べたところ、次のような情報が得られた。日本一の階段は、長崎県有明町の舞岳山頂までの約3km、全8888段の自然遊歩道、次いで熊本の古刹釈迦院（金海山大恩教寺）の大石段3333段（全長1900m）、古くは日本で最も長い階段は、山形県の出羽三山、羽黒山神社の参道杉並木であって、登山口から山頂までの1700m、全2446段の階段であった。



(金比羅宮奥社)

さて、マンション管理組合理事会「顧問」（前理事長が自動的に就任）の職務が終わったと思ったら、今度は自治会の役員である。役員候補者が集まって役員の決定を行った。矢張りと言うべきか、自治会長希望者が居なかったので抽選で決定せざるを得なかった。本来ならば適任者を互選選出すべきなのだろうが、致し方ない。会長に女性が就任することとなったので、その補佐役として副会長を引き受けた。

今回自治会役員を引き受けるに当たって幾つかの所懐を持ったのでそれを紹介したい。

#### ① 自治会の包含する問題点等に関する認識の共有

当自治会が結成されて10年近く、如何なる問題を抱え、それがどの程度解決されてきたのか、等々に関する前任役員等からの申し送りが為されていない。役員の任期は高々1年である。であればこそ、認識の共有と継続的な問題解決努力が必要である筈だ。

#### ② 加入率と関心の度

加入率の低さは関心度合いの低さを表すと考えて良いのだろう。然しながら、自治会の活動状況等を広報してきたのだろうか。加入の為の努力したのだろうか。そういう努力をせずして「加入率の低さイコール関心の度の低さ」と断定は出来ないし、すべきではないだろう。

#### ③ 役員が多忙さが加入率低下の主因では

当自治会の加入率が逐次に低下しているようだ。自治会に加入していることによる受益は当然とするも、役員にはなりたくないのも、その時期になると退会するのだという。確かに、役員には毎月の役員会を始め各種活動への参加など、ある程度の負担は避けられない。然しながら、それは順番で皆が負担すべきことである。一方、役員負担が多いのも事実であり、その負担軽減を如何にすべきか真剣に検討しなければならない。活動量を減らすことなく負担を軽減するそんな虫の良い話があるのだろうか。大事なことは役員相互がお互いに協力し合うことである。

④ 加入促進努力の欠如顕著

新座市の加入率は自治振興課で確認したところ約80%である。然るに当自治会の加入率は65%に過ぎない。退会したと言う話は聞くが新たに入会したとの話は聞いたことが無い。新規入居者には役場で所要のパンフレットを配布しているが、自治会としては何ら手を打ってこなかったのではなかろうか。

⑤ 協働による街づくり運動

活性化が必要である。ルーティンの活動に止まらず地域活性化のために何を為すべきかを模索して努力する必要がある。このため、他自治会や連合会との交流を推進することが必要であろう。それらを通じ、自治会として何を為すべきかが見えてくるのではなかろうか。

また、言うまでもなく、地域の問題を全て地域のみで解決出来る訳ではない、行政の力に負う面も多々ある。行政主導にならざるを得ない面もある。

何れにしる、自らの地域のみならずもう少し広い意味での地域までも含んだ地域の問題解決のために、行政との協働事業を活発化して住み易い豊かな地域を創造することが必要だ。

⑥ 町内会の新設、既存町内会との関係

地域的な一体性（感）、規模の適正さ、新旧住民の自然なる融合等を考慮すれば、ある規模以上のマンションは、自ずから一つの町内会を構成するのが妥当であろう。その規模をどれ位と判断するかは難しいが、・・・

小生の住むマンション規模が、200戸超であるので、一つの町内会を形成することとなろう。確かに既存の町内会に新住民が大量加入することによる無用の混乱を避け、且つ逐次に地域に順応させる為にも止むを得ぬ施策であろう。

⑦ 管理組合と自治会

1つのマンションで1つの自治会を構成する場合、法的存在である管理組合と任意団体である自治会はその目的・役割も異なるので趣旨的には別組織であるべきだが、相当な部分が重複もしており、夫々が限定的に捉えるのではなく拡大的に捉えて、一心同体となって活動した方が効果的である。言わば管理組合と自治会は住民組織の両面であり、何れもが機能しなければならない。

⑧ 自主防災会（組織）について

自主防災組織は、住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織であり、災害対策基本法において市町村長が育成責任を有しているものとされている。基本的には町内会や自治会等の通常の地域コミュニティを核又は単位に組織される。かかる意味において、自治会や町内会と自主防災組織や表裏一体の関係にあると見るべきである。然しながら、自治会や町内会には加入していないが自主防災組織には加入しているという変則的なことが起きている。

⑨ コミュニティとしての文化を！

地域には地域としての永年に亘って培われてきた特色と言うか独特の文化があるものである。当自治会は既に10年余、その様な文化の萌芽が見られれば良いのだが、未だしの感がする。その様なアイデアを持って会の運営が為されてきたとは言いがたい、止むを得ない。これからはその様なものを目指して努力して行く必要があるのではなかろうか

か。

⑩ 受益のみならず応分の負担又は協力の精神こそ肝要

自治会に入会せずとも必要最小限の情報は伝達され、自治会活動による環境整備や防犯・防災活動或いは各種交流活動等の恩恵を受けることは可能であり、それを排除する積りは毛頭はない。然しながら、未入会者には受益と同時に自ら参画して協力する意識を持って欲しいものだ。

(参考：百科事典、各種HP)